

算数科 小学校 6年

単元の流れ（全8時間）

【第1次】

主な学習内容

- ◇第1時 円周と直径との関係について考えることを通して、円の学習の見通しをもつ。
- ◇第2時 円周と直径の関係について、実測の操作を通して調べ、円周率について理解する。
- ◇第3～4時 円周率を使って、円周や直径を求め、直径と円周の関係について理解する。

「活用」の力の育成のために

算数的活動を通して、図や式を使って分かりやすく自分の考えを説明する。（ポイント① ②）

【第2次】

主な学習内容

- ◇第5時 円の面積のおよその大きさを求める。
- ◇第6時 円を分割する活動を通して、円の面積の求め方を考える。（本時）
- ◇第7時 色々な方法で円の面積の公式を導き出す。

「活用」の力の育成のために

半径・直径・円周・面積などの関係を整理し、公式を導く。円の面積の公式を身近な問題場面に適用する。（ポイント① ③）

詳しい単元指導計画はこちら

CLICK



【第3次】

主な学習内容

- ◇第8時 円周や円の面積の求め方を考える学習を通して、円周や円の面積の理解を深める。

単元名「円の面積」
啓林館 「わくわく算数6下」

単元目標

- 円周率の意味を理解し、円の面積の求方を考え、それを用いることができる。
- *移行により旧5年「円周と円の面積」が分割され、5年「円と正多角形②円周と直径」、6年「円の面積」として担当されている。第1次は、現行5年の内容である。

単元構成の意図

本単元は2つの小単元からなっている。第1小単元では、円の直径と円周の関係、円周率の意味を理解し、円周の長さを求める公式を導き出し、その活用を図ることをねらいとしている。第2小単元では、円の面積を見当付けたり等積変形したりして面積の公式を導き出し、その活用を図ることをねらいとしている。

これらの指導を通して、発展的に図形を考察する力、筋道を立てて考える力、直観的に見積もる力といった数学的な見方、考え方を育てる。

「活用」の力を育てるポイント

- ①算数的活動を通して、半径・直径・円周・面積などの関係を整理し、公式を導き出させる。
- ②図や式を使って、分かりやすく自分の考えを説明させる。
- ③円周や円の面積の公式がどのような場面に使えるのかを考えさせる。

評価問題

CLICK

HOME

本時の流れへ